



いっしょにつく
一緒に作る、
これからの医療

いりようせい さく かんじゃ し みる さんかく
医療政策への患者・市民参画

かんが
考えてみようかな...

さんか
参加してみたい!

むこうなじうが
これからの医療が...

こんなせいどが
あったらいいな...



Check! **一緒に医療を作るってどういうこと？誰と作るの？**

医療を受ける立場の患者・市民と医療を提供する立場の専門家が協働し、患者・市民のニーズに沿ったよりよい医療を作ることができます。医療者から政策立案者、開発担当者、研究者まで、幅広い専門家が患者・市民との協働を必要としています。



幅広い患者・市民に影響を与える医療政策の検討には、よりよい政策の実現のために、多様な患者・市民の意見が必要とされています。

Check! **どうやって参画するの？事前知識は必要？**

参加する方法は様々で、方法によって、事前知識が必要ない場合もあれば、必要な場合もあります。国や地方自治体等のウェブサイトやSNSをチェックし、参加方法を確認してみましょう。

主な方法

アンケート調査

- 事前の知識がなくても比較的簡単に誰でも回答することができます。

※パブリック・コメント

- 案となる行政の資料を読む必要がありますが、一般に誰でも回答できます。

※公開された行政の案に対してコメントする方法

口頭での意見交換
(ワークショップや意見交換会)

- 資料を読むなどの準備が必要ですが、事前の知識は比較的求められません。

会議
(審議会や検討会)

- 効果的に発言するためには、議題や会議の目的等に関する事前の理解が必要となります。

Check! **医療政策に参画するメリットは？**

患者・市民参画なし

- 医療者、研究者、政策立案者など医療を提供する立場の専門家のみで政策を考える。
- 必ずしも患者・市民のニーズに合わない政策となる可能性もある。

患者・市民参画あり

- 医療を受ける立場の患者・市民と医療を提供する立場の専門家が一緒に政策を考える。
- 患者・市民のニーズに合った医療政策を実現する可能性が高まる。



Check! **参画の一步を踏み出そう**

身近な参画経験や研修の受講が、より多くの患者・市民に影響を与える医療政策への参画につながります。

医療政策への参画のきっかけ

医療制度に関する研修を受講してみたのが始まりでした。



市役所から案内が届き、市役所の会議に参加しました。



※ピア・サポートを始めたことがきっかけでした。



※同じ疾患や障害を持つ人たち同士で支えあう活動

まずは身近で、興味のある分野の参画機会や研修機会から、あなたの経験をより良い医療のために活かしましょう。

もっと詳しく知りたい方へ

日本医療政策機構は、以下のような、患者・市民が政策に参画する際に役立つ情報などをまとめました。詳細はQRコードからご覧ください。



医療政策の形成過程における
患者・市民参画の手引き



行政の会議に参加する前のチェックリスト

心構え

- 複数の患者・市民の声を伝える立場として、広い視野を持って発言することを意識しましょう

知識

- 参加する会議の議題に関連する、疾患や医療の用語を確認しましょう
- 参加する会議の目的や位置づけを確認しましょう

会議のマナー

- いろいろな立場の参加者と協力し、建設的に話し合うことを意識しましょう
- 限られた時間の中で、簡潔にわかりやすく意見を言う準備をしましょう

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本医療政策機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2

大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 3階 Global Business Hub Tokyo

Tel: 03-4243-7156 Fax: 03-4243-7378 E-mail: info@hgpi.org